

「課題名：人生の最終段階における難しい医療選択に係る対話を実践するための教育を受けた相談員が行う相談支援の有用性に関する研究（患者の意思を繋ぐ研究）」（医療法人財団老蘇会静明館診療所 倫理委員会受付番号 No 1.）」にか
かかる研究実施についてのお知らせ

当病院では、国立長寿医療研究センター在宅連携医療部が主体となって実践する以下の研究に、症例登録をする役割で参加しております。

この研究は、通常の診療で得られた情報（カルテなど）から必要な情報を取り出し、まとめることによって行われるものです。

このような研究は、厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者様のお一人ずつから直接ご同意をいただかずに実施することができますが、研究内容の情報を公開することが必要とされています。このお知らせをもって研究内容の情報公開とさせていただきますので、ご理解いただけますようお願いいたします。

この研究に関するお問い合わせなどがございましたら、下記の「12. お問い合わせ先」までご連絡いただけますようお願いいたします。

平成27年8月27日

記

1. 研究課題名（倫理・利益相反委員会受付番号）

人生の最終段階における難しい医療選択に係る対話を実践するための教育を受けた相談員が行う相談支援の有用性に関する研究（患者の意思を繋ぐ研究）」 No 1.

2. 対象となる患者様・ご家族

国立長寿医療研究センターが実施する、人生の最終段階における医療にかかる相談員の研修会を受講した相談員とともに、今後・現在の医療やケアに関する相談を行った患者様・ご家族

3. 研究に使用する情報

医学的社会的患者背景と相談内容

4. 研究機関名

医療法人財団老蘇会 静明館診療所

5. 研究責任者（医療法人財団老蘇会 静明館診療所 医師 大友宣）

6. 研究期間

2015年8月27日～2016年9月

7. 当該研究の意義、目的

エンドオブライフケアに関する相談の内容を明らかにすること

8. 当該研究の方法

エンドオブライフケアに関する相談の内容の記述

9. すべての個人情報の利用目的

医学的社会的患者背景別に、エンドオブライフケアに関する相談の内容を明らかにすること

10. 個人情報の保護について

この研究では、診療情報（電子カルテ等）より上記3. の情報を抽出して使用いたしますが、患者様が特定できる情報（氏名・住所）を削除した状態で抽出しています。抽出データに残されている患者 ID 番号についても、患者 ID 番号とは別の新たな符号・番号に置き換えた上で保管し、研究に使用いたします。患者 ID 番号と置き換えた符号・番号との対応表は研究に使用する抽出データとは別にされ、厳重に保管されます。また、研究成果は学会や論文として発表されますが、その際にも患者様を特定できる内容を含むことはございません。

11. 開示等の求めに応じる手続

この研究においては、当該被験者が識別される保有する個人情報はございませんので、保有する個人情報についての開示は行っておりません。診療記録の開示としては、開示を希望される方はお申し出下さい。なお、診療記録の開示には、情報公開法の定めにより手数料が必要となります。

12. この研究に関するお問い合わせ先

研究リーダー

国立長寿医療研究センター在宅連携医療部 三浦久幸

人生の最終段階における医療体制整備事業事務局

国立長寿医療研究センター在宅連携医療部

愛知県大府市森岡町 7-430

0562-46-2311（代） 内線 6215

担当 西川満則

医療法人財団老蘇会静明館診療所

〒064-0801 札幌市中央区南一条西 2 3 丁目 1-5-901

電話 011-622-5212

担当 大友宣